

横浜市感染症発生動向調査報告（令和3年12月）

《今月のトピックス》

- 感染性胃腸炎の報告数が第45週から増加しています。
- 新型コロナウイルス感染症は、低めの報告数で推移しています。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が13件で、高い水準で続いています。
- 梅毒の報告が19件で、高い水準で続いています。

◇ 全数把握の対象

〈12月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	13件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
E型肝炎	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
レジオネラ症	5件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
アメーバ赤痢	2件	梅毒	19件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件	播種性クリプトコックス症	1件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4件	百日咳	1件

- 1 腸管出血性大腸菌感染症：O157が6件(うち無症状病原体保有者1件)、O不明5件(いずれも無症状病原体保有者)、O121が1件、O28が1件(無症状病原体保有者)の報告がありました。
- 2 E型肝炎：無症状病原体保有者1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 3 レジオネラ症：肺炎型5件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 4 アメーバ赤痢：腸管アメーバ症2件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 5 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：4件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 6 劇症型溶血性レンサ球菌感染症：G群2件、A群1件、血清群不明1件の報告がありました。そのうち2件は創傷感染が推定されています。
- 7 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)：無症状病原体保有者1件の報告がありました。同性間性的接触による感染が推定されています。
- 8 侵襲性インフルエンザ菌感染症：70歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。
- 9 侵襲性肺炎球菌感染症：10歳未満1件(ワクチン接種歴4回有)、40歳代1件(ワクチン接種歴不明)、60歳以上で3件(ワクチン接種歴不明2件、ワクチン接種歴無1件)の報告がありました。
- 10 梅毒：男性13件女性6件、早期顕症梅毒Ⅰ期10件、早期顕症梅毒Ⅱ期5件、無症状病原体保有者4件で、そのうち16件は性的接触(異性間10件、同性間4件、詳細不明2件)による感染が推定されています。
- 11 播種性クリプトコックス症：免疫不全によるものと推定される60歳代の報告が1件ありました。
- 12 百日咳：20歳代1件(ワクチン接種歴不明)の報告がありました。

◇ 新型コロナウイルス感染症(報道発表ベース)

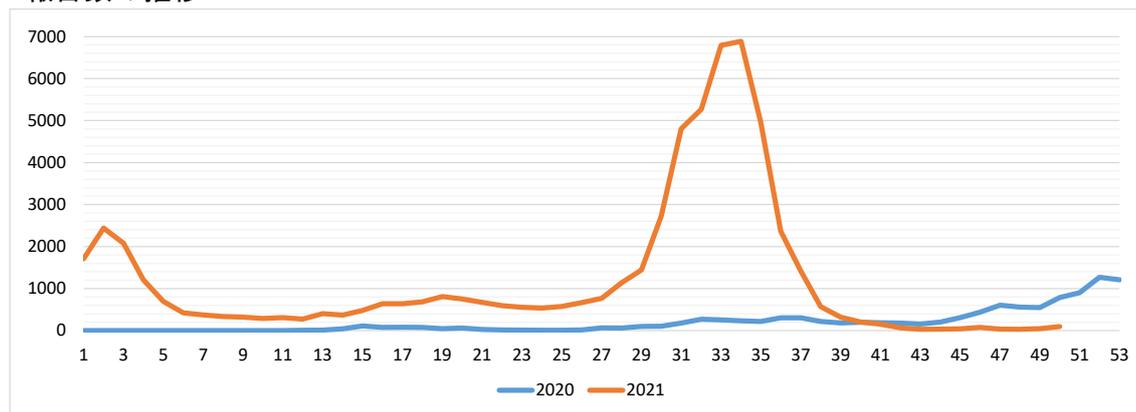
第47週～第50週に横浜市から報道発表のありました症例は204件でした。

◆ 横浜市内の陽性患者の発生状況データ・相談件数

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/coronavirus/corona-data.html>

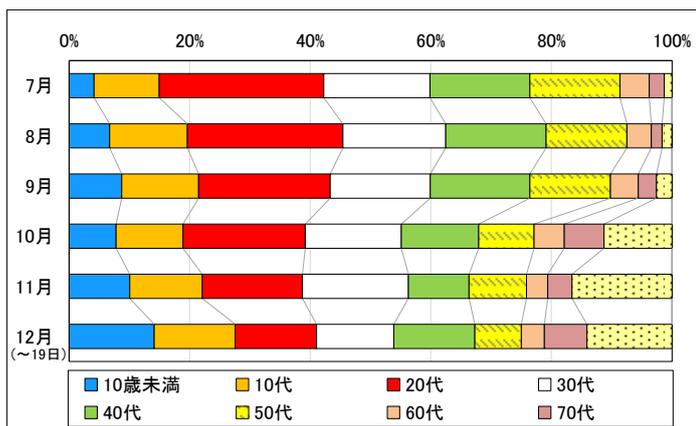
1 報告数の推移

[人]

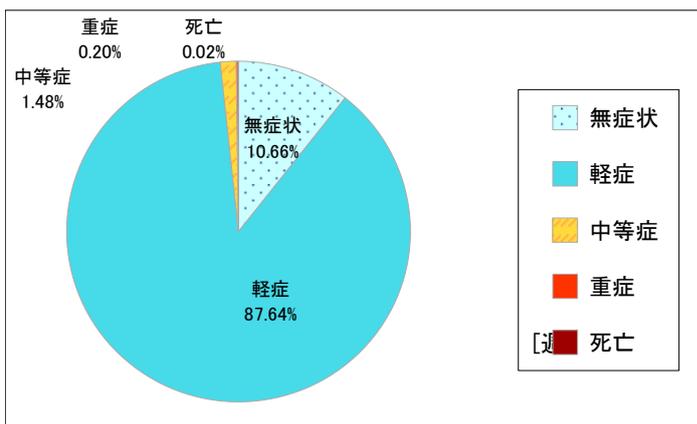


[週]

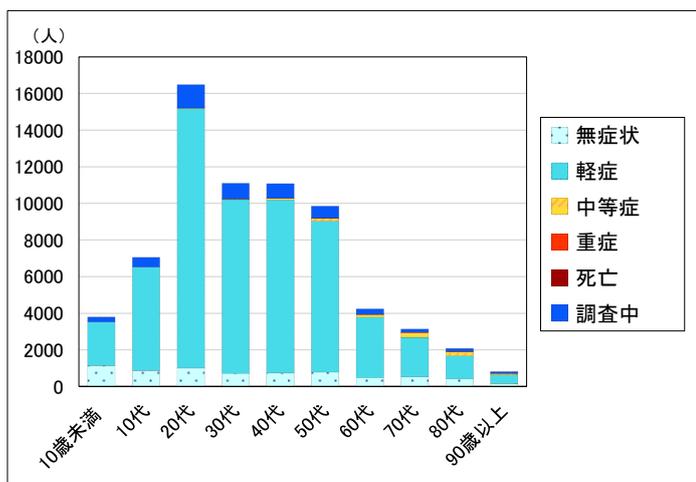
2 年齢別割合



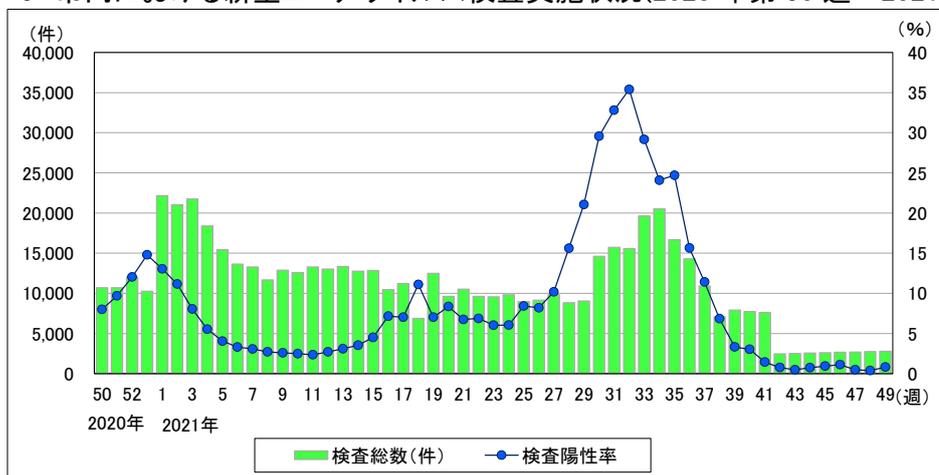
3 陽性確定時の症状の割合(2021 年第 50 週まで)



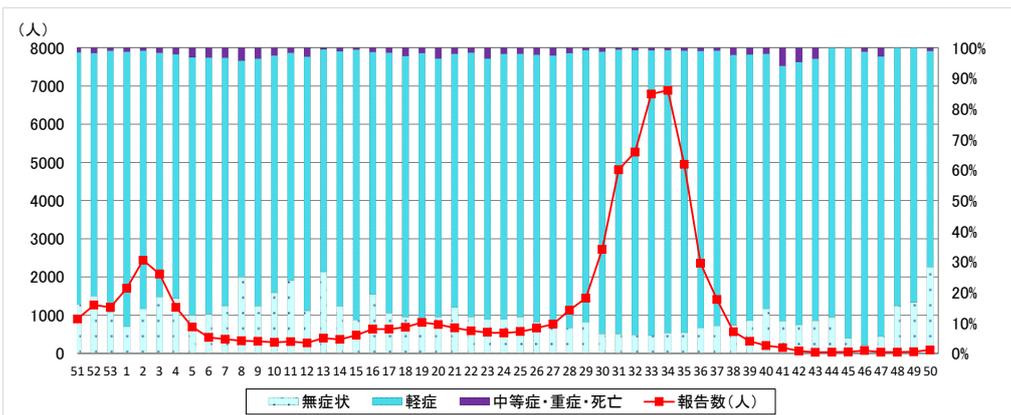
4 陽性確定時の症状別人数(年代別)(2021 年第 50 週まで)



5 市内における新型コロナウイルス検査実施状況(2020 年第 50 週～2021 年第 49 週)



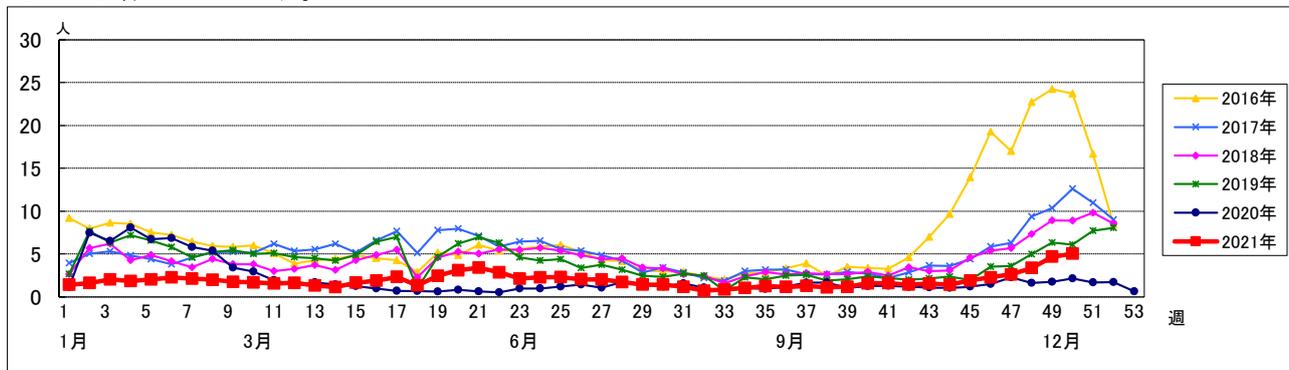
※ 検査総数: 医療機関(民間検査機関等)、接触者外来、市衛生研究所の検査数の合計



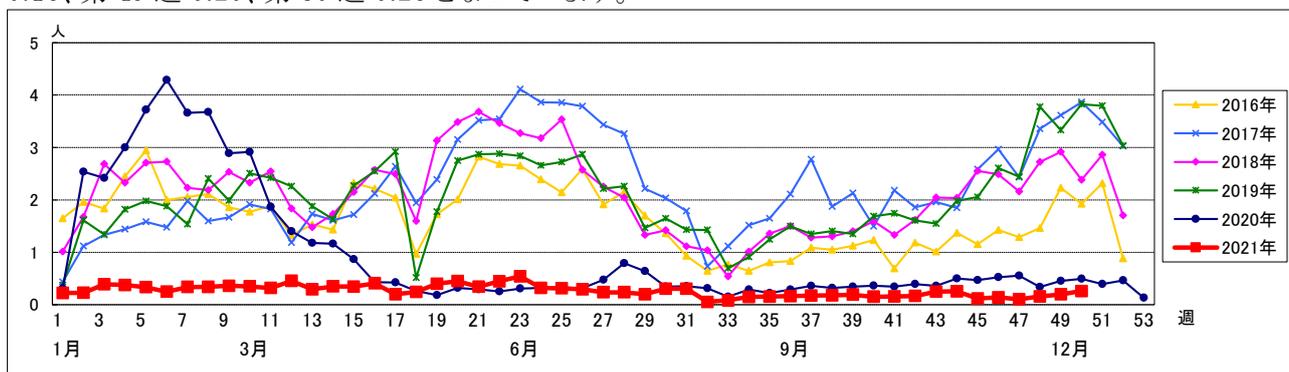
報告週対応表	
第47週	11月22日～11月28日
第48週	11月29日～12月5日
第49週	12月6日～12月12日
第50週	12月13日～12月19日

◇ 定点把握の対象

1 感染性胃腸炎: 昨年より高めの報告数で推移していて、第47週2.60、第48週3.36、第49週4.68、第50週5.02と増加しています。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 例年より低めの報告数で推移しています。第47週0.10、第48週0.16、第49週0.20、第50週0.26となっています。



3 性感染症(11月)

性器クラミジア感染症	男性:35件	女性:21件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:6件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:6件	女性:0件	淋菌感染症	男性:19件	女性:5件

4 基幹定点週報

	第47週	第48週	第49週	第50週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.33	0.33	0.33	0.33
マイコプラズマ肺炎	0.33	0.33	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(11月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

12月期(2021年第47週～第50週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点27件、内科定点3件、眼科定点1件、基幹定点3件、定点外医療機関からは3件でした。

ライノウイルス遺伝子2件、コクサッキーウイルスA6型遺伝子1件、アデノウイルス6型遺伝子1件、単純ヘルペスウイルス1型分離1株、アデノウイルス1型分離1株及びアデノウイルス2型分離4株が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2021年第47週～第50週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	手 足 口 病	無 菌 性 髄 膜 炎
アデノウイルス 1型	1 -			
アデノウイルス 2型	4 -			
アデノウイルス 6型		- 1		
ライノウイルス	- 1	- 1		
単純ヘルペスウイルス 1型				1 -
コクサッキーウイルス A6型			- 1	
合計	5 1	- 2	- 1	1 -

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

12月期(2021年第47週～第50週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、クリプトコッカス2件の検査依頼がありました。非定点からの検査依頼は、非結核性抗酸菌2件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌8件、劇症型溶血性レンサ球菌3件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件、侵襲性肺炎球菌1件、侵襲性インフルエンザ菌1件、カンピロバクター3件の依頼がありました。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ4件の検査依頼がありました。「小児サーベイランス」の小児科定点から消化器系病原菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査 (2021年第47週～第50週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	基幹定点 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)、 <i>Citrobacter freundii</i> complex (1)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
	クリプトコッカス	2	<i>Cryptococcus neoformans</i> (2)	
保健所	非定点 非結核性抗酸菌(NTM)	2	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscesses</i> (1) <i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i> (1)	
	腸管出血性大腸菌	8	O157 : H7 VT1 VT2 (3)、O157 : H- VT1 VT2 (1)、 O157 : H- VT2 (1)、OUT : H- VT1 (1)、 OUT : H+ VT1 (1)、OUT : H+ VT2 (1)	
	劇症型溶血性レンサ球菌	3	A群溶血性レンサ球菌 UT (2)、 G群溶血性レンサ球菌 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (2)	
	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)	
	侵襲性インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> e型 (1)	
	カンピロバクター	3	<i>Campylobacter jejuni</i> (3)	
	分離同定	材料	項目	検体数
保健所	喀痰	レジオネラ属菌	4	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)、不検出(3)
小児サーベイランス	材料	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	直腸ぬぐい液	消化器系病原菌	1	<i>Staphylococcus aureus</i> エンテロトキシンB (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】